

# 水軒の浜に松を植える会



昭和29年頃

埋め立て前、昭和29年ごろの水軒の浜。白砂の浜に沿って松林が2°ほど逆S字状に連なる(撮影・若西正大氏)



平成22年の元「水軒の浜」。緑の逆S字はあまり変わっていないように見えるがほとんどが雑木



昔はこんなふうだった? と思われる七本松付近

## 地道に清掃し整備



不法投棄されたごみの山。掘ると生活ごみが30センチも層になっているところも



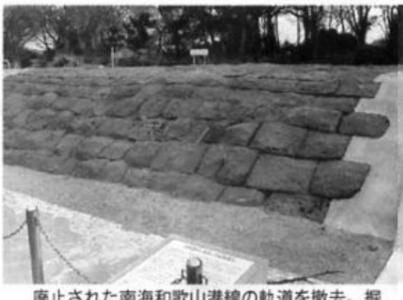
パワーショベルも会員が操縦



遊歩道沿いには会員が植えたスイセンも



クリーン作戦



廃止された南海和歌山港線の軌道を撤去。掘り出された水軒堤防の一部がすぐそばに移築・復元されている



設置された遊具やミニサッカー場で遊ぶ子どもたち



残っていた「二本松」と、成長した第1回植樹の松



松を植樹する西浜中学校1年生(ことし3月1日)



21年2月に植樹した西浜中1年生



植樹に集まった会員や市民(ことし3月4日)

## 4年で1600本植樹

会発足のきっかけに、昔の松林の面影は「江時代」に遺られ、薄れた。松はほとんど水軒の浜沿いの「水」なくなり、不法投棄の「軒」が、平成17年「ごみが多い。昔の美し」5月、道路改良工事現「海軍を知る私たちが」場で見えなくなった。何とかなければ「せ」つ、素晴らし「住民自ら、美しい水」い歴史遺産があるの「軒」の浜を後世に伝え

「青松と桜並木の憩いの地に」

4/22 クリーン作戦

本年度の第1回ク

白砂青松の景勝地だった和歌山市西浜の元「水軒の浜」に、かつての松林を復活させ、憩いの公園にしようと活動している市民団体「水軒の浜に松を植える会」(豊田善之会長、340人。雑草や雑木、大量のごみを取り除いて整備し、4年間で植栽した松は計約1600本になった。堤防沿いの遊歩道ももうすぐほぼ完成。来年2月で1・5にわたる松の植栽が終了する予定だ。同会の今までの活動を紹介します。



ことし3月1日に中学1年生が植えた松が風に負ける姿。その言葉が立て札に

## 本年度「わかやま市民協働優秀賞」

が植栽(紀の国森づく)り基金活用事業)。22年度県緑化功労者表彰(豊田会長(69)もその例のない、精巧で加工をを受け、本年度の市「わかやま市民協働優秀賞」を受賞している。また、毎年シンポジウムを開き、史跡「水軒堤防」の歴史的・土木工学的・防災的価値を学ぶ。歴史湖の秋の学習。琵琶湖の秋の学習。天橋立など全国の松林を見学し、ことし3月には兵庫県西宮市で「松を植える会」に参加。来年史跡に指定されておた、遊歩道やドッグラン、健康広場を整

「現存する日本最長の海浜石垣」(全国でも西浜中学校1年生全員が毎年植樹すること樹も進んでいる。「高津子山からトンガの今の子どもは勉強勉強、堤防沿いを桜並木強て校外活動が少なえたな」と、大きくなつてから思い出してくるよつだ。

さらに松だけでなく、ハマユウや桜の植樹も進んでいる。「高津子山からトンガの今の子どもは勉強勉強、堤防沿いを桜並木強て校外活動が少なえたな」と、大きくなつてから思い出してくるよつだ。